

## 第65号

発行:令和7年12月

会員数:139名(11月末現在)

(家族会員=12名、個人会員=127名)

発行責任者:田中 恆(ひさし)

編集責任者:出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

# 友の会だより

友の会事務局:

松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

観光文化スポーツ →文化情報・施設 →松浦武四郎記念館 →「松浦武四郎記念館友の会について」で検索してくださいね。

**カラー**で見ることができますよ。

## 「祝 松浦武四郎記念館講座二百回 支えたのは「友の会」です。」

### 松浦武四郎記念館元館長 高瀬英雄

平成十七年、市町合併で三雲町の松浦武四郎記念館が松阪市となりました。課題は「一万人が敬愛する三雲町の偉人・松浦武四郎を人口十五万人の偉人に育てる」ことでした。館内で、松浦武四郎をどう輝かせるかを考え意見を出し合いました。

種まく人を志した山本館員(現館長)が「無から有を、不可能を可能にする挑戦」の方法としての講座開設に強い意欲意識をもって、七月十日に第一回講座「松浦武四郎の生涯」を開きました。

講話内容の背景となる具体的な史料も提示するなど工夫を凝らしたところ、内容と交差した生き生きとした素晴らしい考え、意見、感想が出され今後明るい展望を感じました。

「少年よ 大志を抱け」とクラーク博士に励まされて北の大地の札幌農学校で学んだ人は桑名出身の柳本通義を含めた十三人でした。第一回講座参加者は十五人。この方々は農学校の生徒以上に光り輝く希望の星の人びとでした。新松阪市の松浦武四郎顕彰講座の種が蒔かれました。

#### ★★ 講座を支え育てたのは「友の会」☆☆

その蒔かれた種を立派に育てたのは紛れもなく「松浦武四郎記念館友の会」の人たちです。教育委員会文化課の理解支援のもと、何度も三雲町元町長黒宮さん、松浦武四郎を読む会の人や近隣の文化施設等関係者の意見を聞き、館内で相談して会の規約等を作り、「松浦武四郎記念館友の会」の組織化を図りました。

幸い、地元の飯田さんが中心となって、講座参加者の中で松浦武四郎に強い魅力を感じた人びとが役員となって、新鮮な記念館を支える会を作っていただきました。

講座開始から二〇年を越えました。友の会も成人しました。「松浦武四郎記念館講座二百回」と輝かしき歴史が築かれ、松浦武四郎は、松阪市全体の偉人となりました。

二百回記念講座は若い佐藤学芸員の話でした。未来を感じさせる講座でした。「友の会」の方々と記念館が三百回、四百回と「確信から革新への深化をめざす講座」を期待しています。

先日、友の会の事務局・出口さんのご案内で、松浦武四郎が貴重な古銭を寄付した大阪造幣局へ行きました。造幣局の基礎を築いたウィリアム・ゴーランドと松浦武四郎の関係は偶然とだけでは片付けられないことを確認し、友の会の質の高い研修を楽しみました。

今後とも「友の会」の大切さを認識し、「自ら学ぶ友の会」の一会員として参加させていただきたいと思っています。



第200回武四郎講座にて

## 「松浦武四郎奉納の神鏡を訪ねる旅」を実施！

令和7年11月17日(月曜日)朝7時過ぎ、松浦武四郎記念館に36人の参加者がぞくぞくと受付けして、バスに乗車しました。毎年、恒例のバス旅は今年も無事出発、一路大阪府へ。

目的地には、奈良県からの参加者が1人あり、37人の方々と一つ目の見学地、高槻市にある上宮天満宮(「うえのみや」と書いて「じょうぐう」と読むそうです。)まで、バスを降りてから少し歩き、鳥居からは、急な勾配を登ること5分、やっとのことで到着しました。紅葉が目に飛び込んできて、落ち着いた雰囲気 of 素敵なところです。先に参拝させていただいて、参集殿に上がり昨年見つけたばかりの御神鏡を手にとって拝見させていただきました。佐藤学芸員に大きさを測ってもらうなどした後、全員が手に取り記念撮影する方も。短い時間でしたが、心に残る時間でした。宮司様のお話から、数年前まで津市にお住まいだったということが分かり、そのご縁の深さに驚きました。

お昼は、大阪市内へ行きホテルの食堂のゆったりしたところで、食い道楽の名にふさわしくお腹いっぱいのお食事でした。

午後は、大阪城の近くにある「お金の工場」造幣局へ。

バスが到着すると同時に、ご案内いただく学芸員がお出迎えしてくださった。そして、早速映像室へ。まず、造幣局と松浦武四郎、そして、松浦一雄についての講演をいただいた。また、一雄が手がけた内国勧業博覧会のメダルを見せていただいた。何と明治11年製造の物だ。他にもいくつか見せていただいた。銅製のものなので、十円玉の古い物と同じ色だった。作られた当時は、輝いていたことだろう。コインとは違って、手作りだということでした。

一雄さんが造幣局で働いていた証拠の品だが、それを知る記録が残されている。まとめた150周年記念誌に名前が出ていた。また、師匠の加納夏雄の日記に松浦一郎の名で記され、その横に、松浦武四郎男と書かれてある。加納夏雄が大蔵省に雇われ、一円硬貨などの原案や原盤を作った時、一緒に造幣局へ着いていたのだと考えられている。学芸員の話では、明治8年の出勤簿などが見つかったとのことでした。

講演の後、2班に分かれて硬貨(10円玉を製造中)の工場を見学すると博物館を見学するコースへ。終了後入れ替わった。残念ながら時間が少なくて造幣博物館での見学が短くなってしまった班には申し訳ない思いで一杯でした。

この見学は無料でネットにて申込みできるので、ぜひもう一度ゆっくり見に行っていたら幸いです。

参加されました皆様、これにこりず、来年も参加していただけますようお願い致します。急きょ参加できなくなって仕舞われた方、参加したかったが別の用があった方、来年は、10月頃、奈良県を予定しています。計画はこれからですが、ぜひ、参加してくださいませ。



上宮天満宮では神鏡の重みを感じ、  
武四郎さんの時代に思いをはせました



時価数億円の大判(小判何枚分なのか)

アクリルの中に埋められているので  
触ることもできない

## 「友の会の研修バス旅行に参加して」

元役員 稲垣 良利

今回の旅行に一会員として参加して感じた事を述べたいと思います。

### ☆上宮天満宮について

○平成22年に訪問した際には、武四郎さんが奉納したという神鏡は見当たらないと言う事でした。しかし、1メートル位の大きな鏡が他の方により奉納されており、今後への期待を伺わせるものでした。

○今回の訪問の下調べで、幹事の出口孝次さんが現地(高槻市)の方々と交流する過程で産経新聞に掲載され、「武四郎の写真」「聖跡二十五霊社巡拝双六」「馬角斎印」「(武四郎を紹介する)たばこ」等、読者に紹介されたことを知ることができました。

○2回目の訪問ということで、上宮天満宮及び関係するの方々のご努力により、松浦武四郎奉納の御神鏡を拝見出来る等、更に判ることがあり好ましい内容でした。

### ☆大阪造幣局について

○私は若いときの数年間、大阪に勤務し、住まいは枚方市だった事もあり、桜ノ宮にある造幣局の通り抜けは有名で、一度は体験したいと思い乍ら、実現できず残念でした。

今回の旅行で実現し、大変嬉しく期待して参加しました。

○まず、武四郎さんの養子となる加藤木賞三の子「一雄さん」の紹介や仕事の内容について、造幣博物館学芸員による説明があり、貨幣の製造工程(金属板の打抜き～模様付等)や博物館を見学した。

○一連の見学を通じて感じた事は、造幣局及び局の学芸員が松浦武四郎及び松浦一雄について関心を持って調査を進めてもらえた事は良かった。

### ☆まとめ

○2ヶ所の見学先共に訪問を機会に調査・研究が進んだことは、関心を持って頂けたからであり、更に松浦武四郎との関係が明らかになるように期待したい。

○今後も研修旅行を進めることにより、お互いに研究が深まることが私の希望です。幹事で世話役の出口さん及び奥様にお礼申し上げます。



あわただしいバス旅でしたが、皆様充実した時間を過ごしていただけたのかな

## 【記念館からのお知らせ】

武四郎講座(毎月第2日曜日の午前10時から11時ごろまで開催)

- 12月14日「武四郎の和歌」  
講師:山本 命(松浦武四郎記念館 館長)
- 1月11日「三重県における武四郎の顕彰」  
講師:世古 詩央里(松浦武四郎記念館 学芸員)
- 2月 8日「武四郎涅槃図」  
講師:佐藤 圭祐(松浦武四郎記念館 学芸員)
- 3月 8日「武四郎の飛騨紀行」  
講師:山本 命(松浦武四郎記念館 館長)
- 4月12日「(未定)」  
講師:世古 詩央里(松浦武四郎記念館 学芸員)

### ☆展示会のご案内

- 12月5日(金)~2月 1日(日) 企画展「武四郎の和歌」
- 2月 6日(金)~4月 5日(日) 特別公開「武四郎涅槃図」
- 4月10日(金)~6月21日(日) 企画展「(未定)」

☆無料開館のお知らせ 2月22日(日) 武四郎まつり ぜひお越しください。



2026年2月22日(日)

## 武四郎まつり

今年も松浦武四郎記念館を中心に、小野江公民館・松浦武四郎誕生地・真覚寺にて、無料でお楽しみいただけるように様々なイベントを準備していただいています。

飲食についても、キッチンカーなどが来ます。ぜひお越し下さい!

## 【友の会よりのお知らせ】

### 「意見交換会」を実施します。

2025年12月14日(日) 11:00~1

※多目的室(武四郎講座の後で)

いくつかのグループに分かれて自由にお話していただき、今まででよかった事、今後の希望などについて聞かせていただけたら嬉しいです。参加できなかった方も、ご意見があれば、メモなどを記念館に届けていただけたら幸いです。よろしくお願ひします。

「武四郎まつり」に参加します!

★記念館駐車場にブースをたてます。ぜひ来てくださいな。



令和2年に行われた意見交換会



昨年の武四郎まつりのブース

2026年2月22日(日)

### 会費納入のお願い

令和7年度の年会費 500 円を、なるべく早く納付いただきますようお願いいたします。(連絡が無い方は、退会されたものとします。)

今後、口座振込みをご希望の方は、記念館事務局  
0598-56-6847 へお問い合わせください。

今回の発行は、  
4月の予定です。

